

プシケおおたニュース

2022年 1月号 NO.42

社会福祉法人 プシケおおた事務局
〒144-0051 東京都大田区西蒲田 4-4-1
TEL : 03-5700-6352
FAX : 03-5700-6753
E-mail psyche-ota@mbj.nifty.com
HP <http://www.koujiya-center.com/>

◆法人の理念◆

「一人ひとりの”ちから”を信じ、当事者の思いを実現する。」

～私たち（プシケおおた）は、関わる人・機関が持っている力とその可能性を信じ、
当事者の「こうしたい、こうありたい」という思いの実現に向かって行動します～

◆運営方針◆ 職員行動指針；

- ① 当事者中心 ② 自己決定 ③ 権利擁護 ④ 啓発
- ⑤ 協働 ⑥ 創造 ⑦ 研鑽 ⑧ Win-Win



六郷とんび風

巻頭言

プシケおおた 理事長 廣瀬 達志(たつゆき)

新年明けましておめでとうございます。

現在新型コロナを始めとして地球規模で影響のある出来事が私たちの社会と生活を大きく変容させようとしているようです。地球温暖化による自然環境の悪化や、GAFA等巨大資本の集中と格差の拡大、アフリカ・アジアにまたがる武装勢力の専制と大量難民の国境を越える移動など、負の側面の出来事は暇なく現出し拡大しています。これらに対して国際社会は、国際協調で調整を続け、脱炭素社会への移行の促進や、持続可能な社会

(SDGs)を目標に対応しようとしています。私は「誰一人も取り残さず」というその基本理念に賛同しつつも、課題の多さと複雑なしがらみを思うと、実現への前途の多難性を思わざるを得ません。

巨大な世界の仕組みとルールが激しく変化を始めている時代です。

また、日本では超高齢化社会の到来や、人口減少、それに伴う経済の収縮、地方の低迷などの課題がクローズアップされています。これらの潮流は世界と日本を貫いて、ゴールが不確かなまま、もはや止まらない大きなムーブメントと化しています。

このような状況の中で、社会福祉への影響も大きく予測されますが、今まで積み上げられてきた福祉の後退はなんとしても食い止め、障害福祉関係法や「障害者権利条約」などの当たり前の国際基準や理念の実現を前進させていかなければならないと思います。

プシケおおたもこれらの社会背景と無縁ではありません。組織や将来の収支バランスの検討の結果、現在プシケおおたも、決して今まで通りの組織運営、事業遂行だけでは組織の維持そのものが困難となり、新しい時代に対応できないことが明らかとなっています。

この2年間、新規事業を含めて検討を行い、昨年からは、組織全体で組織や事業や収支のあり方、改革の方途について検討を開始しています。

組織の検討では、理念、会議、コミュニケーション、意思決定のあり方、仕事の進め方など組織論一般で課題とされる問題が検討項目として上がっています。また、人員や給与など人事制度についても検討が必要であり、施設の老朽化も喫緊の課題です。

事業の検討では、とりわけ「計画相談支援」や「地域生活安定化支援事業」等の収支バランスのマイナスは喫緊の課題であり、また、「グループホーム」のあり方や「B型事業」の拡充、新規事業の検討など検討項目にあげられています。地域との連携も大きな課題です。

事業遂行の上で、人と人の対面の対応をベースとした精神障害支援の特性は外せない必須マターであり、収支バランスも重要項目です。これらのバランスを含めて、チームワークや人材育成・スキルアップ等を含めて、「どこまで出来るのか」を組織全体で考えて、一つずつ結論を出して持続可能な事業体にしていきたいと考えています。

プシケおおたの内部メンバーだけでは決して解決できない課題も沢山あります。今後とも、大田区、東京都等行政の皆様はじめ各ステークスホルダーの皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



こうじや生活支援センター 地域交流事業

クリスマス音楽会の報告



12月24日（金）と25日（土）にクリスマス音楽会を開催しました。職員の濱口さんと刈屋さんが楽器を演奏し、参加者はカスタネットを鳴らして楽しまれていました。また、昨年に引き続きゲストの方が来てくださり、手品ショーをしてくださいました。

今回は地域交流事業として、特別養護老人ホーム糀谷とオンラインで繋がり、一緒に演奏と手品を楽しむことができました。新型コロナウイルスのため、事前予約制で少人数となりましたが、オンラインでの地域交流事業という新しい取り組みに挑戦することもできました。今後も今できることを模索していきたいと思います。

今年もこうじや生活支援センターをよろしくお願い致します。

**特養ホーム糀谷の皆さま
また一緒にしましょう♪**



クリスマスソング楽しく聞けました。
手品も色々ふしぎでビックリしました。
楽しかったです。

石井

～特養ホーム糀谷からの感想です～

コロナで生演奏を聴く機会がなかったので新鮮でした。
手品もゲストの方の手元がよく見えて楽しめました。



手品が楽しかった。

A・K



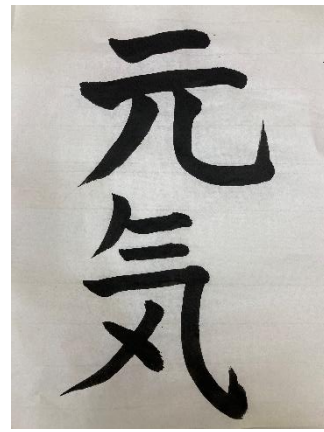
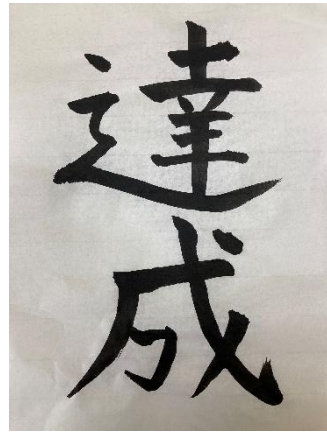
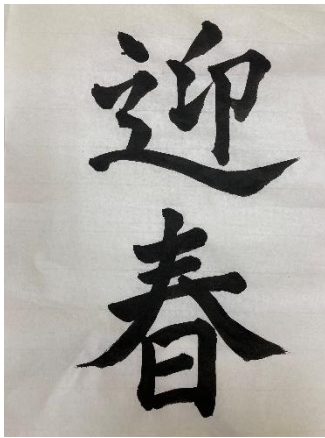
かまた生活支援センター

コロナ禍において室内系プログラムが休止する中、センター外での利用者さんの生活にも、外出を控えることで体力が落ちてきているという影響が出ています。その運動不足を解消したいという思いの中から、ストレッチという新しいプログラムが利用者さんの発信で生まれました。

室内プログラムではありますが距離を取って行い、一層の換気・消毒をすることで実現可能となりました。すでに何度か実施しており、運動不足解消と良い気分転換になっているようで、今後も出来る範囲の工夫を利用者さんと一緒に重ねて考えて参ります。

下記の写真は室外プログラムのウォーキングで、11月に池上本門寺に行った時に撮りました。たとえ世の中の状況が変わっても、心と身体の健康維持のためにできることは何かを模索して可能な限りチャレンジしていく姿勢を持つことが大切と感じました。





ホーム蒲田
書初め
1/2 に箱根駅伝
をみながら行い
ました。



タイトル「こうじやセンター」
「利用者より」



新春の風に向かい
て 母親と
歩む人生
祈りを込める

ムードある若いカ
ップル 北風を
二人の息が 熱く
している

遠くまで 心に映
す 晴れた日に
幸せかいと 青空
を見る

冬あかり

CS にしかまた クリスマスパーティー

昨年の 10～12 月に東京工科大学の学生さんが、演習で CS にしかまたに来てくれました。

「もっとお店を知ってもらいたい」「若い人たちにも来てもらうにはどうしたらいいか」という、CS にしかまたの希望から、クリスマスパーティーを企画。

近隣の小学校・児童館・保育園・幼稚園にも周知をした結果、70 名以上の方が、CS にしかまたを訪れてくれました！

学生さんがサンタやトナカイの恰好をしたり、家族会の方の協力のもと、ツリー型の紙の飾りを作成したり、にぎやかにクリスマス気分を味わった一日でした。

学生の皆さん、準備から後片付けまでご参加くださった皆様、ありがとうございました。

(CS にしかまた運営委員 京極)



賛助会だより

プシケおおた賛助会費を 2021 年 8 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までに納入して頂いた方

個人会費；48 名

団体会費；3 団体

♥心より御礼申し上げます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

賛助会代表 高橋明紀代

入会のご案内；

プシケおおた賛助会は、社会福祉法人プシケおおたの運営の維持・発展のために支援協力することを目的として活動を行っています。当会の趣旨にご賛同いただける方の入会をお待ちしております。会費は年間 1 口 2000 円からで、何口でも可能です。入会を希望される方は、下記口座に会費をお振込みください。

郵便振替 口座番号 00150-5-663423 加入者名 プシケおおた賛助会

編集後記；

新しい年が明けました。新型コロナウイルスのオミクロン株の急激な拡大で、落ち着かない日々です。満員電車で少し不安を感じつつも、風邪に負けない体づくりをと思って、ヨーグルトや緑茶、納豆を積極的に食べています。

先日の雪では、近所の公園で雪だるまを作ったり、雪合戦したり、久しぶりの雪を満喫しました。

皆様もお体にお気をつけてお過ごしください。

(京極)